

# 北中だより



<http://nk-kitanaka-j.la.coocan.jp/>

中野区立北中野中学校

## ★ 保護者や地域の皆様へ…

校長 津村 慶

今年度も残り約1カ月となりました。3年生は都立高校の推薦入試と私立高校の推薦・一般入試を終え、残りは都立一般入試の結果を待つのみとなりました。それぞれの努力が実を結び、納得のいく結果が残せることを期待しています。2年生は2泊3日の冬季移動教室を今月上旬に実施し、スキーを存分に楽しむとともに宿舎内の生活では和やかにかつ協働的に過ごすことができ、成長が感じられました。また1年生も都内フィールドワークを行い、主体的にSDGsについての学びを深めながら協力して班行動を進めるなど、中学生の社会科見学として立派に行動することができました。まもなく今年度最後の定期試験が行われますが、それぞれが1年間の学習を締めくくる良い取組になることを願っています。

さて、昨年末に実施しました保護者アンケートへのご協力ありがとうございました。残念ながら今年度はアンケートへの回答率が60%程となり、過去5年間の平均値よりも20%程下がってしまいました。今後は実施時期や回答期間を再検討し、実施方法についても工夫することでより多くの保護者の方にご回答いただけるように改善してまいります。引き続きご協力をお願いいたします。

次頁に掲載している保護者アンケートの集計結果を見ますと、各質問に対して「十分」と回答した割合は概ね20%前後となっています。これに「まあ十分」を加えた肯定的な回答の割合は80%前後となっており、グラフ全体を見ても赤系の帯が「不十分」「やや不十分」の青系の帯よりも多くなっています。総括的には教育活動にご理解をいただいているとともに肯定的に受け止めていただいていると感じています。しかし、各設問における過去5年間の保護者アンケートの平均値と比較すると、肯定的な回答の割合が5%以上低下している項目は29設問中13設問におよび、該当する項目への関心が高く、厳しい声をいただいたと感じています。今後は肯定的な回答の割合が数年間継続して低い設問(3、4、9、10、13、21、23)や、過去と比較して大きく低下してしまった設問(3、9、10、13、14、16、18、23)について特に注視し、しっかりとした活動が従来通りにできているか、見直しが必要かを判断し、教育活動の改善に取り組んでまいります。

一方、5頁に掲載している生徒アンケートの結果を見ると、読書の冊数とボランティアの回数を尋ねた設問13と15を除いて「十分」と回答した割合の平均は48%とほぼ半数になっています。これに「まあ十分」を加えた肯定的な回答の割合は平均値で84%となり、生徒たちは学校生活に達成感や満足感を得ていることがわかります。過去5年間の生徒アンケートの平均値と比較しても23設問中19設問で肯定的な回答の割合が増加しており、中でも設問8、11、12、14、18の5つは5%以上伸びていることから、生徒が前向きに学校生活を送る中で手応えを感じている様子が伺えます。

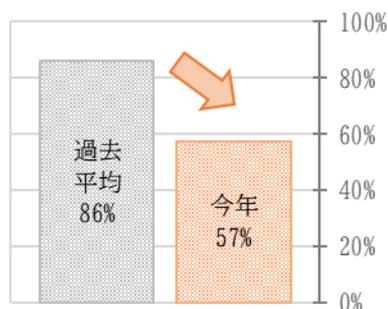
2つのアンケートの結果から、生徒たちの学校生活に関しては、様々な取組が自己の成長を実感できる良い結果に結びついていることが分かりますが、保護者の方に関してはそれらが実感されておらず広報活動が不十分であることや、いくつかの設問で「足りていない」という感想をお持ちの方から、教育活動の内容や回数をさらに充実させていく必要があると感じております。学校としましては、保護者の方々のご理解とご協力をいただきながら、生徒たちがより楽しく、より充実した学校生活を送れるように工夫と改善を続けていくことが大切であると思っております。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。



## ★ アンケート結果の分析（今年、大きく変化した項目） ★

肯定的な回答（「十分」、「まあ十分」の2項目）の比率を合算し、過去5年間の平均値と比較しました。特に変化が大きかったのが以下の3項目です

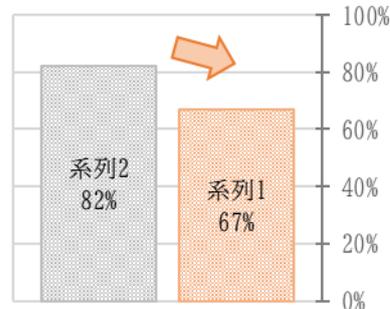
設問10 学校は、生徒の自他の生命を大切にする態度を育てている。



設問9 学校は、思いやりや優しい心を育てている。



設問13 学校は、保護者や地域の方の意見や要望を受け止め、学校改善に生かそうとしている。



設問10「生命を大切にする態度を育む教育」には、今後より一層力を入れていく必要があると感じています。外部講師による特別授業に加え、道徳や各教科の指導においても重点をおいて取り組み、自分の命と他人の命、どちらもかけがえのないものとして大切にする心の育成に注力してまいります。

設問9は日々の生活指導で周囲に対する配慮のない悪ふざけ等を丁寧に指導することに加え、道徳教育や学年を超えた縦割り活動、学級・学年におけるグループ活動および様々な内容のボランティア活動を通して、多様性を受け入れる寛容さと相手の立場になって考える思慮深さの醸成に取り組めます。

設問13では、保護者や地域の方のご意見は学校改善のための重要なヒントであると考えています。また、同じ事象に対しても様々なご意見がありますので、それらを十分に勘案しつつ生徒に最善の方法を模索し改善を進めてまいります。保護者や地域の皆様に改善の姿勢を感じていただけるように、より一層努めます。

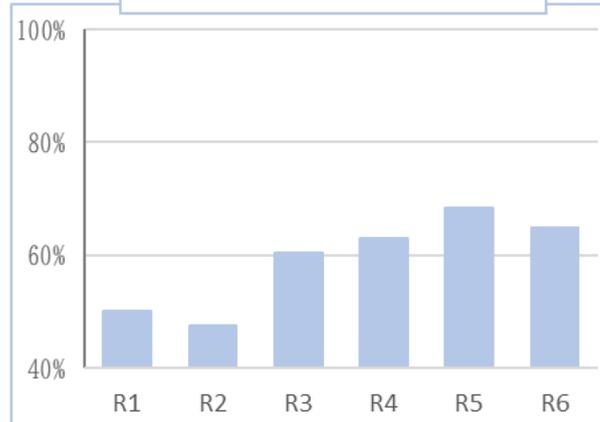
## ★ アンケート結果の分析（時系列で高位と低位の項目の変化）

更に評価回答が高い傾向の項目と低い傾向の項目について過去からの変化をみてみました。「子どもの安全を守るための取組」については、引き続きご理解をいただけるよう継続していきます。「特別支援教育や発達障害に関する保護者の方への説明」については、年度当初に行っている関係機関や校内体制の紹介を年度の途中にも行うなどしながら、より理解が深まっていくように改善してまいります。

設問17 学校は、朝礼や避難訓練を活用し、子どもの安全を守るための取組を行っている。



設問21 学校は、特別支援教育や発達障害等に関して保護者への説明をおこなっている。



## ★ 自由回答欄のご意見 【一部抜粋】

- ◇いじめ等に関して幾度かアンケートを実施されていますが、アンガーマネジメント等自分の感情をコントロールするすべを身につける教育も行う必要があると感じます。専門家を迎えてその必要性を子どもたちに認識させていくことも考えていただきたいです。
- 学校生活アンケートは毎月実施しており、いじめの早期発見、不安や悩みの把握と対応に一定の効果을挙げています。今後はいじめ等のトラブルに関する法律の専門家を招いた授業や感情のコントロール方法を学ぶ授業等を取り入れることを検討いたします。
- ◇命の大切さ、100万分の一の確率で生まれてきたことや、性教育、いじめ、差別等「いのち」に関して講師を招いたりして伝えていける授業があると良いと思います。
- 今年度は実施できませんでしたが、昨年度は交通事故で子どもを失くされたご遺族の方をお招きした「命の授業」を実施しました。また3年生で実施している外部講師による性教育の授業では「生命の誕生」にも触れています。今後は性教育の授業やがん教育の授業を拡充し、各学年の段階に応じて「命の尊さ」について指導してまいります。
- ◇正式に部活動顧問を2人付けられないとしても、顧問が見られない日が多い場合は、常に張り付きでなくてもいいのでサポートの人を付けてほしい。
- ◇教員の部活動に対する指導や引率の負担が大きそうなので、外部から指導者を呼んで短い時間でも教員の負担を軽くできないか検討してほしい。生徒にとっても専門家に指導してもらった方が効率よく技能を伸ばせるのではないか。
- すでに導入している部活動指導員および外部指導員を次年度も増やしていく方向で準備を進めています。すぐにすべての部活動に配置することは予算等の関係からできませんが、教育委員会と相談しながら拡充を進めてまいります。また顧問の2人体制は活動日数や指導員の配置状況を勘案して進めてまいります。
- ◇学校のi-Padを家でも勉強以外に長時間使用している姿を見かけます。使用時間の制限を設けたり、スクリーンタイムを利用できるようにして、目に見える形で利用時間を認識できるようにするなど、何らかの対策をしていただきたいです。
- i-Padは現在、午後11時から午前6時までの間はインターネットに繋がらないように制限をかけています。またYouTubeを含むいくつかのサイトにも教育委員会でフィルタリングを行っています。校内では「i-Pad使用五か条」を生徒会が中心となって設定し、より良い使い方ができるよう呼びかけています。スクリーンタイムによる自己管理も今後検討してまいります。
- ◇進路説明会資料に卒業生の進学先の記載があり「主な進学先」として校名の記載がありますが、人数などが分かりません。北中野中卒業生がどれくらいの高校に何人いつているのかというのは知りたいデータです。具体的なイメージが出来ますので開示をお願いします。
- 今年度中にお伝えできるかはわかりませんが、今後3年生が合格した高校名一覧を合格者数とともにお知らせできるように改善していきます。
- ◇生徒に校則を考えさせるなど、主体性をもたせる方針はとても良いと思うので、この方向性を変えないでほしい。→ 校則の改定を含め「生徒の手でつくる学校生活」の方針は今後も続けてまいります。

他にも多くのご意見やご指摘をいただき、誠にありがとうございました。厳しいご意見も多く、すべてに今すぐにお答えすることはできませんが、いただきましたご意見はすべて、教職員で共有し、全員が改善に向けて取り組んでいくようにいたします。子どもたちのより良い成長のために、今後ともご理解とご協力をいただきますよう、よろしく願いいたします。

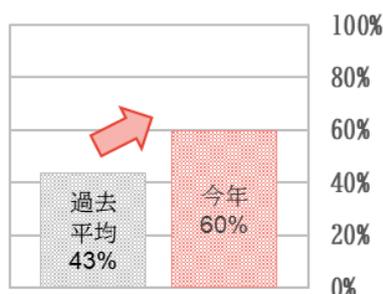
# 令和6年度 学校生活に関する生徒アンケートの結果

		<span style="color: #FFD700;">■</span> 十分 <span style="color: #FFD700;">■</span> まあ十分 <span style="color: #90EE90;">■</span> やや不十分 <span style="color: #90EE90;">■</span> 不十分					
		0%	20%	40%	60%	80%	100%
設問1	北中野中学校での生活は楽しく充実している。	1	58%		37%		2%
設問2	学校生活の中で、あいさつや返事、礼儀正しい言葉づかいができています。	2	50%		38%		9%
設問3	生活のルールやマナーを守って生活している。	3	61%		33%		4%
設問4	健康に気を付け、自分や他人の生命を大切に生活している。	4	69%		27%		3%
設問5	授業や部活動、委員会活動を通して、健康づくりや体力向上に努めている。	5	53%		35%		7%
設問6	各教科では、生徒に関心や意欲を持たせる授業の工夫をしている。	6	44%		42%		10%
設問7	数学の少人数指導は、自分にとって学びやすく効果があった。	7	53%		40%		4%
設問8	学習の基礎・基本を身に付けるために学習計画表や放課後学習教室・補習などを活用している。	8	28%		30%		27%
設問9	道徳やその他の活動から、自分の役割や他者への思いやりなど、より良く生きることの大切さを感じている。	9	60%		33%		5%
設問10	総合学習や授業や進路学習などを通して、将来に向けての生き方や考え方を学ぶことができる。	10	47%		45%		6%
設問11	リサイクルや節電、節水など、環境問題を意識しながら学校生活を送っている。	11	42%		44%		12%
設問12	読書や学習をする上で、図書館を活用している。	12	27%		24%		22%
設問13	学校や家を含めて月におよそ何冊の本を読んでいますか。①5冊以上 ②3~4冊 ③1~2冊 ④それ以下	13	12%	16%	48%		24%
設問14	ボランティア活動に積極的に参加し、地域の方や保護者から学習することが出来ている。	14	23%		36%		26%
設問15	今年度ボランティアを何回行いましたか。①4回以上 ②3回 ③2回 ④0~1回	15	9%	13%	29%		50%
設問16	先生は、自分のことをよく理解してくれている。	16	40%		47%		8%
設問17	先生は、いじめなどのない楽しい学校・学級づくりに努めている。	17	55%		38%		4%
設問18	心配なことや悩んでいることなどを先生やカウンセラーに相談できる。	18	47%		39%		9%
設問19	運動会・文化発表会など学校行事は、楽しく充実している。	19	64%		31%		3%
設問20	学校は、校内の環境美化に積極的に取り組んでいる。	20	45%		43%		9%
設問21	部活動は、充実した活動になっている。	21	56%		32%		5%
設問22	配布物（学校だより・学年だより・学級だより・その他の通知）をきちんと保護者に渡している。	22	45%		34%		15%
設問23	家庭で毎日1時間以上勉強している。	23	43%		23%		18%

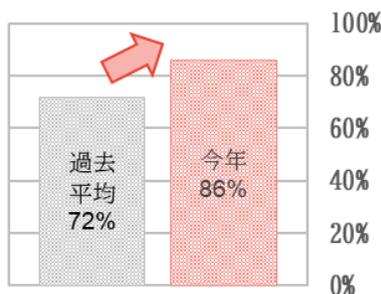
## ★ 生徒アンケートにおいて、今年大きく変化した項目について ★

肯定的な回答(「十分」、「まあ十分」の2項目)の比率を合算して過去の平均値と比較しました。今年は多くの項目が過去に比べて高くなりました。特に以下の設問14と18は10%を超える改善となりました。反対に最も大きく低下したのは、設問2となります。

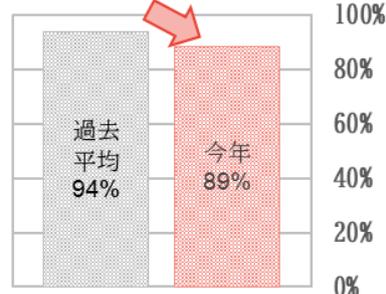
設問14 ボランティア活動に積極的に参加し、地域の方や保護者から学習することが出来ている。



設問18 心配なことや悩んでいることなどを先生やカウンセラーに相談できる。



設問2 学校生活の中で、あいさつや返事、礼儀正しい言葉づかいができています。



設問14のボランティア活動については、今年度から全校生徒をボランティア部の所属として積極的に取り組むように呼びかけてきました。また年度当初に年間のボランティアスケジュールを示し、生徒が見通しをもって計画的に参加できるようにし、地域にも協力していただくことで25回のボランティアを実施し、累計で641名の生徒が参加しました。生徒のボランティアに対する意識が高くなった結果と捉えています。

設問18生徒の不安や悩みへの対応については、昨年度から行っている毎月の学校生活アンケートで記載のあった生徒への聞き取りや声掛けが定着してきたことと、保健室および生活指導部を中心としたスクールカウンセラーとの連携方法を見直したことや、SSR(スモールステップルーム)も組み込んだ教育相談体制を整えたことで生徒の悩みを聞き取りやすくなったことが奏功していると考えます。

一方、設問2のあいさつや返事、言葉遣いについては一昨年度から低下が続いており心配しています。大人や年長者との間柄がフランクに変わりつつある社会全般の傾向もあるかと思えますし、学校では生徒の意志を尊重する指導や気持ちに寄り添う指導を大切にしており、厳しい指導は控えめになっていることも影響しているのかもしれませんが。礼儀正しきや言葉遣いなどは引き続き学校でも指導してまいります。ご家庭でのお子様とのかかわりの中でも、ご指導いただけますと助かります。

## ★ 生徒アンケート全体のまとめ ★

上記の3つの他にも、設問11「環境問題を意識しながら学校生活を送っている」は毎年徐々に数値が改善しており、設問12「読書や学習で図書館を活用している」は10ポイント伸びて半数を超えました。また、設問8「学習計画表や放課後学習教室・補習などを活用している」も過去4年間は低下傾向にあったのが上昇に転じている他、設問1、3、4、7、9、10、17、19の8つの設問が90%以上の肯定的な回答だったことはたいへん嬉しいことです。

一方、ほとんどの設問で数値が伸びている中で数値が低下しているのは上記の設問2の他に設問3「生活のルールやマナーを守っている」、13「月に何冊の本を読んでいますか」、23「家庭で毎日勉強している」でした。いずれもわずかな低下ではありますが、この傾向が続いていかないように、規範意識の醸成や読書の推奨、家庭学習の習慣づけに関連する取組に力を入れてまいります。ご家庭におけるお子様への声掛け等においても意識していただきますと幸いです。